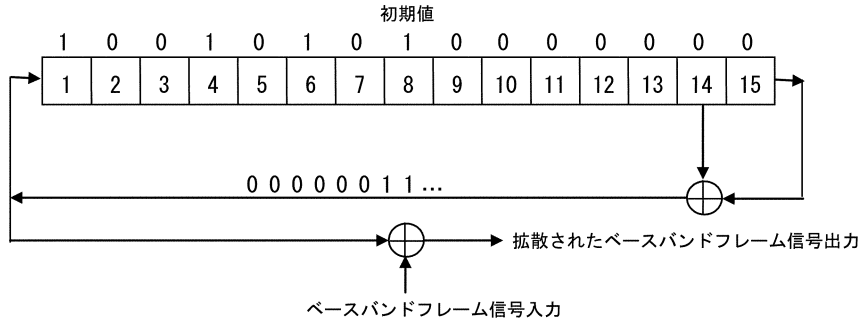
別記１　ベースバンドフレーム信号に対する電力拡散信号

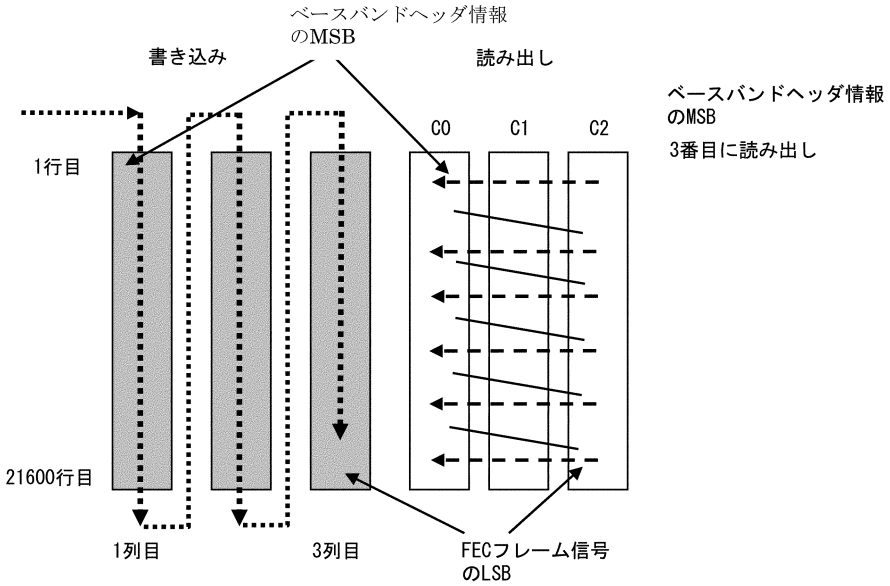
$x^{15}+x^{14}+1$（15次M系列）により発生する擬似乱数符号系列を加算する。



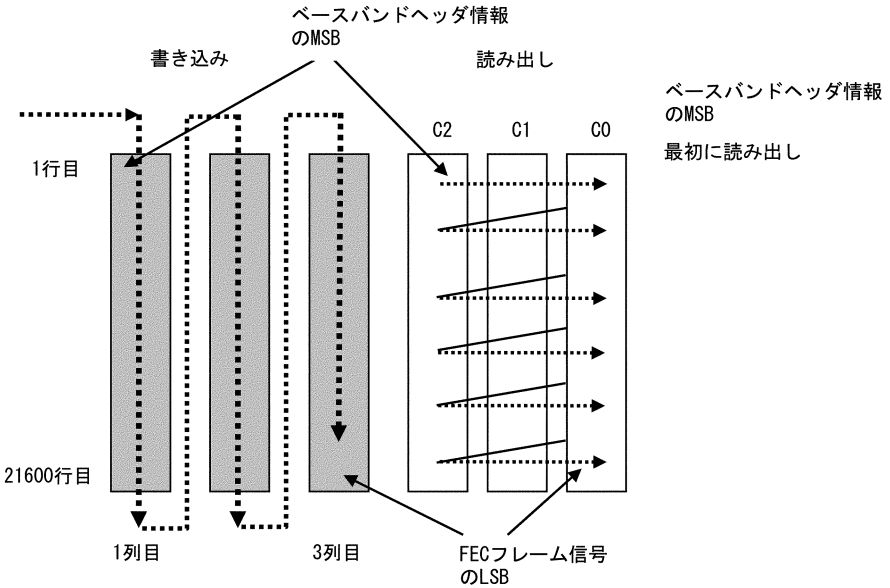
⊕：排他的論理和の演算素子

別記２　インターリーブ

インターリーブは、ＦＥＣフレーム信号に対してビット単位でブロックインターリーブを行うものとする。ＦＥＣフレーム信号のデータは、21600行×３列の行列構造とし、インターリーバに列方向の順に書き込まれ、行方向の順に読み出される。なお、ベースバンドヘッダ情報のＭＳＢは、符号化率２／３の場合は最初に読み出され、符号化率３／５の場合は３番目に読み出される。



符号化率３／５の場合



符号化率２／３の場合

別記３　フィジカルレイヤフレーム信号に対する電力拡散信号

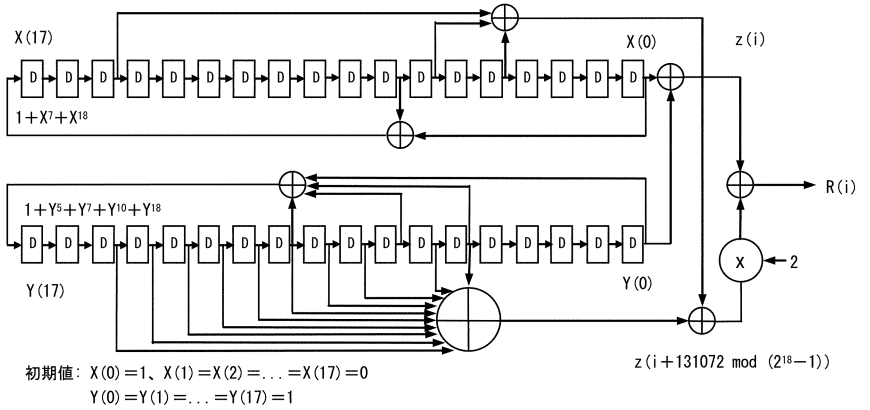
フィジカルレイヤフレーム信号（フィジカルレイヤヘッダ信号を除く。）のキャリア変調マッピングされた信号（Ｉ＋jQ）に（C_I＋jC_Q）を乗算する。電力拡散後の信号$I_{SCRAMBLED}$及び$Q_{SCRAMBLED}$は次式により与えられる。

$I_{SCRAMBLED}=(IC_I-QC_Q)$

$Q_{SCRAMBLED}=(IC_Q-QC_I)$

ここで、C_I（ｉ）＋jC_Q（ｉ）は次式で表され、Ｒ（ｉ）は下図に示す発生器により発生する。

$C_I(i)+jC_Q(i)=\exp(jR(i)\pi/2)$



Ⓓ：１ビット遅延素子

⊕：排他的論理和の演算素子